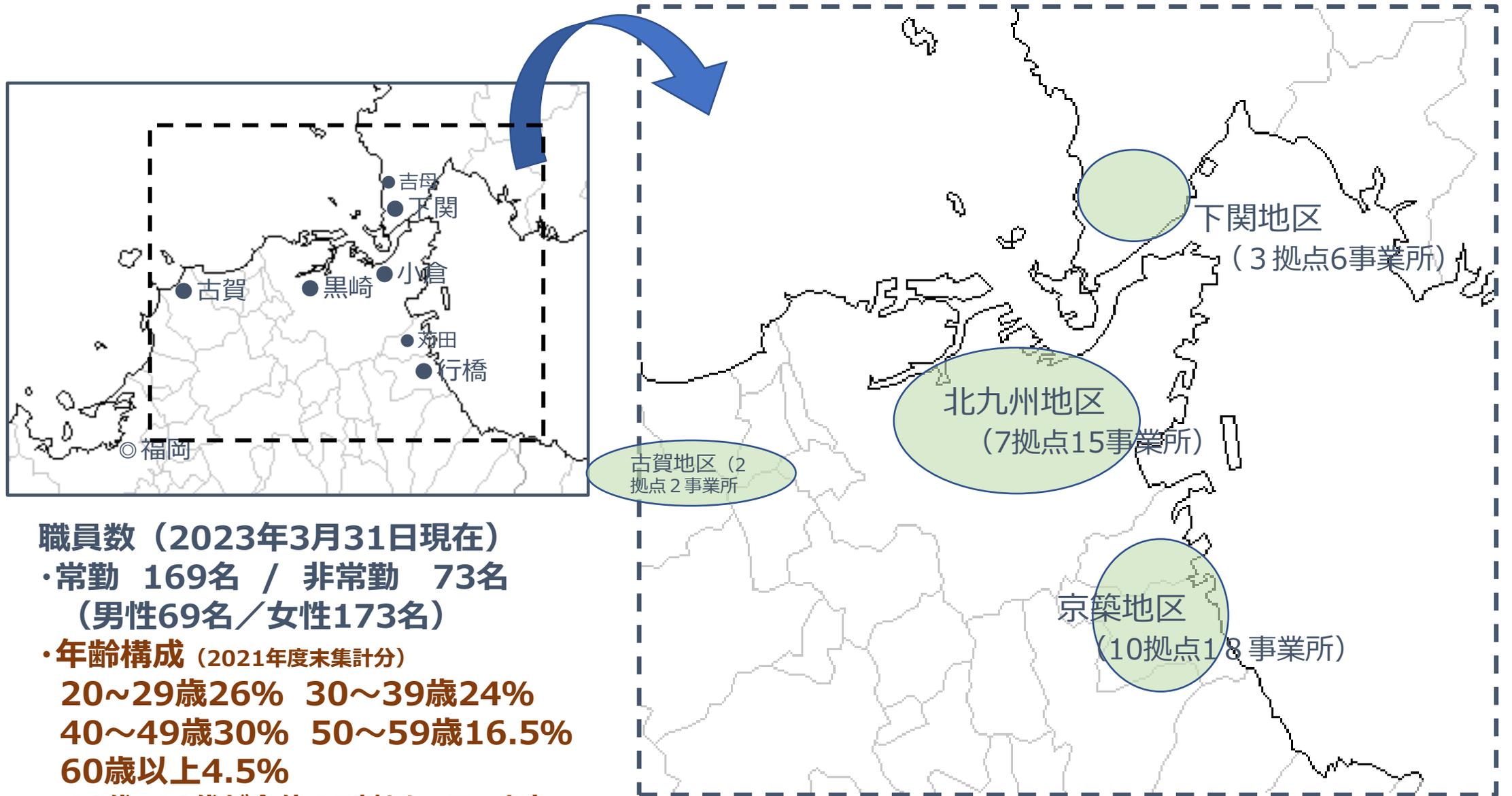


社会福祉法人共生の里 キートス幸神

令和6年度日住管理者等資質向上研修

- ・ 社会福祉法人共生の里事業について
- ・ 北九州の概要
- ・ キートス幸神施設概要
- ・ 直近の利用者状況
- ・ 年間利用者について
- ・ 事例

社会福祉法人 共生の里 事業拠点



職員数 (2023年3月31日現在)

・常勤 169名 / 非常勤 73名

(男性69名/女性173名)

・**年齢構成** (2021年度末集計分)

20~29歳26% 30~39歳24%

40~49歳30% 50~59歳16.5%

60歳以上4.5%

※20代、30代が全体の5割となっています。

☆職員体制について

・社会福祉士	71名	・サービス管理責任者	33名
・精神保健福祉士	73名	・相談支援専門員	19名
・介護福祉士	64名	・看護師	25名
・介護支援専門員	16名	・理学療法士	1名
・管理栄養士	4名	・作業療法士	3名
・公認心理師	7名	・言語聴覚士	1名
		・日商簿記2級	11名

◎もう少しのぞいてみると・・・、

簿記1級/ファイナンシャルプランナー/保育士/ジョブコーチ/手話奉仕員/同行援護従事者/図書司書
盲ろう者通訳介助員/認定特定業務従事者/移動式クレーン/造園施工管理技士2級/手話奉仕員
教員免許（国語・社会・理科・英語・保健体育）/幼稚園教諭（二種）/ACLS（二次心肺蘇生法）

などなど、もりだくさんの資格を保持していることが今回の調査で明らかになりました。

なお、直接本来業務に繋がらない資格も多数ありますが、職員の多様性がすなわち「共生の里」の強みでもあります。

法人は職員の資格取得をおおいに奨励し、手当でしっかり還元させていただきます。

社会福祉法人 共生の里 経営理念

法人ロゴマーク



KYOUSEI NO SATO

福祉・公益事業を通じて

「**利用者の幸せ、職員の幸せ**の実現」

に取り組むことで社会貢献する

当法人は平成24年から障がい福祉事業を主体として事業を行っています。社会福祉法人制度改革が求められる現状において、その使命である「社会福祉を担う特別の主体にふさわしい公益的役割をどのようにしたら果たせるか？」を常に追っています。

そのための一歩として、**将来人口減を迎える今後の日本において20年後、30年後と職員が安心、安定、楽しく働けることができる、希望に溢れた社会福祉法人でありたいと考えています。**

2003

創業

2002年認証
NPO法人共生の里

GH共生の里第一ホーム、豊津ホーム、苅田ホーム

2007～2010

障害GH定員36名

計36名

2012

社会福祉法人へ移管

2011

心の駅北九州第一ホーム、心の駅北九州第二ホーム

夢活動センター行橋、心の駅北九州第三ホーム、夢活動センター八幡

2013

2014

心の駅到津ホーム、心の駅山王ホーム

心の駅北九州第五ホーム、相談支援事業所共生の里、相談支援事業所心の駅北九州、
行橋市一般相談支援、心の駅下関第一・第二三河ホーム、夢活動センター下関

2015

公益事業への貢献

障害GH定員131名

就労継続定員95名

計226名

ゆくはし生活相談センター（自立支援事業、就労準備、家計支援）

訪問看護タック幸神、心の駅北九州幸神ホーム及び短期入所、

無料低額宿泊所キートス幸神（日常生活支援住居施設）

2017

下関就労定着支援、GH共生の里そよかぜホーム及び短期入所

2019

介護部門移管

2018

障害GH定員34名 無低/日住定員23名

計57名

夢活動センター秋桜、介護5事業所（※）移管、心の駅北九州香月ホーム

夢活動センター苅田、心の駅下関吉母ホーム、心の駅北九州森下ホーム、京築自立援助事業、

介護5事業所（※）移転、訪問看護ステーション心の駅

無料低額宿泊所心の駅行橋（日常生活支援住居施設）、GH共生の里第二・三ホーム移転

2022

心の駅北方ホーム、夢活動センター城野、訪問看護城野サテライト、春風ホーム

2023

夢活動下関passo、永田郷ホーム

2024

心の駅古賀舞の里ホーム、心の駅縁（つなぐ）

障害GH定員102名

就労継続定員60名

介護部門入所定員29名

無低/日住定員20名

計180名

※ 介護5事業… 認知症GH、有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護、居宅介護支援（ケアプラン）

入所系合計 370名
通所系合計 175名
訪問看護登録者 120名
相談・特定・ケアプラン含 377名
合計 1042名



共同生活援助

(障害者グループホーム)

5拠点 : 京築5, 北九州10, 下関4
古賀市1

295名

1ホーム14.7名

就労定着 支援

1拠点 : 下関1

相談支援事業

2拠点 : 京築1, 北九州1

夢活動センター
ポルト.生活訓練
(福祉型大学)

6名

就労継続支援

B型事業所

7拠点 : 京築, 北九州, 下関

165名

平均定員24名

介護部門

5拠点 : 京築5

29名

一般相談支援

1拠点 : 京築1

行橋市委託事業

自立生活 援助事業

1拠点 : 京築1

生活困窮者 自立支援事業

1拠点 : 京築3事業

行橋市委託事業

無料低額宿泊所 (日常生活支援住居施設)

2拠点 : 京築1, 北九州1
古賀市1

48名

平均定員24名

訪問看護

ステーション

2拠点 : 京築1, 北九州1

住居支援

1拠点 : 北九州2

14名

北九州概要

総数：916,000人

15歳未満：106,527人

15～64歳：520,546人

65歳以上：288,927人

平均年齢 49.2歳

八幡西区

総数：245,420人

15歳未満：29,893人

15～64歳：140,413人

65歳以上：75,114人

平均年齢 48.7歳



八幡製鉄所

八幡西区は北九州市の西部に位置し、遠賀川を望みつつ、直方市、中間市など2市3町3区と境を接しています。北九州市域の中でも比較的平坦な地形を有しており、北九州市内では最も人口の多い区となっています。



小倉城 🏯



門司港レトロ



若戸花火大会 🎆



皿倉山 夜景

施設概要



- ・ 開所：平成29年9月1日
- ・ 場所：福岡県北九州市八幡西区幸神2丁目3-16
- ・ 定員：24名
- ・ 鉄筋コンクリート造4階建て
- ・ 居室(1階～2階GH居室 3階一部GH居室)
(キートス幸神3階9室、4階15室 各居室17m²)
各部屋にシャワー室、トイレ、IH、ベッド、
エアコン、鍵付き(食堂、洗濯機は共用)
- ・ 職員：施設管理者1名、生活支援員16名(GH兼用)
人員配置基準7.5：1
- ・ 相談支援事業所、訪問看護ステーション同一建物に
設置

キートス幸神施設



居室



シャワー室



食堂兼娯楽室



トイレ



洗濯室(共同3女性専用1)

行事



春は近くにお花見へ 🌸



夏は敷地内でBBQ 🍖



みんなで海へドライブ 🚗

現在の利用者数(2024年11月1日現在)

在所者 21名

年齢 最高齢79歳 最年少23歳

20代2名 30代4名 40代3名 50代5名

60代2名 70代5名

入所期間

半年未満12名 1年未満7名 2年以上2名

日中活動先

一般就労3名(派遣・バイト含む)

B型作業所5名

デイサービス1名

その他 12名(求職活動など)

年間利用者状況(2023年)

①平均利用者数 22.3人

②年間平均利用率 88%

<紹介元機関>

①生活保護37件

②保護観察所3件

③他関係機関 1 件

入居前・退去後の居住の状況<2023年度>

<入居前>

ホームレス	12件
在宅生活	15件
精神科病院	1件
労役所・留置所	3件
社員寮	4件
刑務所	4件
総合病院	1件
高齢者施設	1件

合計 41件

<退去後>

単身生活	18名
グループホーム	8名
高齢者施設	1名
精神科病院	1名
知人宅	2名
家族同居	2名
社員寮	2名
その他	7名

合計 41名

- ・ 重点的要支援者
平均利用 66.80%

S氏事例 (79歳男性)

<入居経緯>

- ・ 両親他界後、路上生活となる。
- ・ 住居侵入で逮捕され、その後基幹相談支援センターからの依頼により当施設に来られる。

<入居後の課題>

- ・ 身体障害2級(聴覚障害)
- ・ 紙面・ボードに記載してコミュニケーションを実施。
- ・ 入居後に飛び出し行動あり、徘徊されることもあった。
- ・ 衣類等身なりの意識が低く、同じ衣類を着まわすなど体臭についても指摘しても納得されない。
理解力課題があり。



S氏事例

<入居後の支援>

- ・ 要介護1、障害支援区分4認定あり。
就労意欲もあったため作業所に繋げる。
現在は週5回利用
- ・ 成年後見制度利用手続き
- ・ 清掃にも課題があったがヘルパー導入により臭いや汚れは軽減。
- ・ 入浴も自身の気分次第で入っていたが
デイサービス利用により週2回は必ず入浴

I氏 事例 (72歳男性)

<入居経緯>

- ・家賃滞納約40万円あり。肺がんステージ 3
- ・大工業務をしていたが癌により仕事ができず辞められ社宅を退去になる。
保護課からの入居相談により入居

<入居後の課題>

- ・入居時は要支援 1 の判定
- ・大きなトラブルもなく利用者、職員とも関係良好。

I氏 事例

<入居後の支援>

- ・市営住宅を退去先に考え、一人暮らしを目指していたが癌の進行があり施設の入居に変更。
- ・抗がん剤治療で定期入院を繰り返すことも多く体力低下、腰椎の圧迫骨折も重なり再認定の結果要介護1となる。
- ・養護老人ホームや住宅型有料老人ホームの見学を行うが入退院を繰り返し危篤状態。
- ・施設に戻ることもかなわず退去となった。

O氏事例(37歳女性)

<入居の経緯>

- ・過去に他の支援機関が関わっていたがルールを守らないため支援の打ち切り。
- ・知人ともトラブルになるなど対人関係にも課題があり行き先がなく、保護課より入居相談あり。
- ・統合失調症疑い、自閉症スペクトラム
高次脳機能障害
- ・精神障害者手帳2級

0氏事例

<入居後の課題>

- ・ コミュニケーション課題あり。
(職員と意思疎通ができない)
- ・ 服薬しない、利用料支払いしない。
- ・ 押印や書類のサインも頑なに断り、
押印1つで数時間を要した。
- ・ ルールを破り居室内に大量のお酒の
空き缶をため込んでいた。



0氏事例

<入居後の支援>

- ・精神科に繋げ薬も飲むようになってから次第に状態も落ち着いてきた。生活環境にも慣れ自身の意志も伝えるようになる。
 - ・清掃や片付けができないことがあり職員と一緒に行うことで実施することになった。
 - ・服薬はホーム管理で眼前確認をしていたが現在は自己管理をしてもらっている。
- 訪問看護は週2回
- ・作業所にも繋げ週5回通所している。
 - ・単身生活に繋げるためGHへ入居を行う。

